



- 活動日時：2012年4月28日（土） 10:00~15:00
- 参加者：4名
- 活動内容
 - ・連休初日でもあり 参加者は4名と少数でしたが、竹林のタケノコが一齐に伸び始めていたので全員で整備しました。
 - ・昨年の岸和田市の失対事業で実施された間伐が奏功したのか、この1週間のタケノコの出方は半端ではありません。
 - ・整備は、自然林へのタケの侵入を防ぐため、作業道から上の斜面の中段以上は皆伐。その他はタケノコの出具合を見ながらの作業になりました。
 - ・本格的な間伐は秋以降ですが、竹林を若返らせるチャンスですから、夏場は若竹の成長に邪魔な竹から少しずつ除伐します。
- 次回活動日：活動可能日投票結果から、元通り第4土曜日を定例活動日にします。 **5月は26日です。**
別途ご案内しますので今から予定頂き、奮ってご参加下さい。

竹林整備 - 1 作業道から上の斜面のタケノコは、自然林への侵入を防ぐため、中段以上は皆伐しました。

Before 作業道から上の斜面。至る所にタケノコが出ています。



After 中段から上のタケノコはほぼ皆伐しました。



かなりスッキリしました。

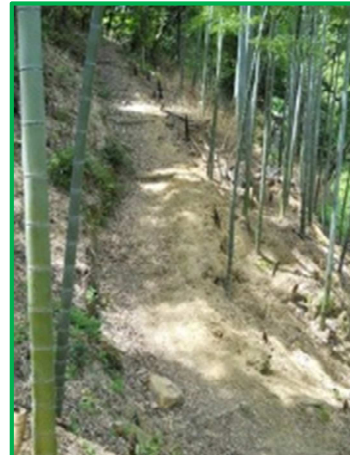


- ・竹林の作業道から上は、麓から侵入した竹に浸食され元の自然林が立ち枯れていましたが、ここ数年の除伐が奏功し緑を回復しています。
- ・左の写真は、息を吹き返したモミジです。
- ・風よけに残してきた周りの竹も、もう用済みですから近いうちに除伐します。
- ・右の写真のタケノコは21日には有りませんでした。
- ・クワの柄は105cm。歯は20cmありますから大物です。



残すかどうか思案中。残すことに決定！

- ・作業道から上の斜面のタケノコは皆伐しましたが、中段から下は除伐程度にして残しています。
- ・また作業道から下の斜面は、竹林として整備するエリアですから、タケノコは、間隔を見ながら残しました。
- ・特に作業道沿いのタケノコは、竹林との境界線を作ってくれますから意識して残しています。



竹林の境界線のタケノコは残しました。



黒い点々や三角形のとんがりは、皆タケノコです。



参加頂いた4名のGS。除伐したミズキをベンチ代わりに撮影。

- 作業道から下の斜面でも、至る所でタケノコが顔を出していました。時期外れの大豊作です。
- 普通出過ぎたタケノコは適宜間伐しますが、今年は出来るだけ残し、むしろ周りの古い竹を除伐して竹林の若返りを進めることにします。
- 竹の間伐は秋以降の作業テーマですが、タケノコの成長に邪魔になる竹は今から時間をみて間伐することにします。
- 参加頂いた4名のグリーンサポーターの皆さんお疲れ様でした。

基地はだんだん良い感じです。 シンボルのエノキが葉を茂らし始め、ササを除伐した跡も広がりが出て良い感じです。



シンボルのエノキがのびのび葉を茂らせ始めました。



ササの伐採で基地に広がりが出てきました。楽しみです。

危険な生き物もぼちぼち顔を出してきました。



- ミズキについた正体不明の腐敗菌が、竹林の竹にもついていました。
- 具合の悪いのは、甘い匂いなのか大スズメバチが取りついていたことで、今後の作業には注意が必要です。
- 基地のミズキの謎の不敗菌は、繁殖の峠を越したのかとろけて流れ始め、幹が見えてきました。
- 引き続き観察します。



- 遊歩道の手作りフェンス際に、有毒で特定外来種に指定されているナルトサワギクが花を咲かせていました。次回除伐します。